

解析力学B

C3-302

はじめに

ばね振り子

放物線に拘束された質点の運動

質点系(質点が複数ある場合)

ゴムひもの振動

解析力学B

第07回: 質点の運動

神戸大: 陰山 聡

今日の講義ノート: URL:

2010.11.25

今日の内容

解析力学B

C3-302

はじめに

ばね振り子

放物線に拘束された質点の運動

質点系(質点が複数ある場合)

ゴムひもの振動

ハミルトンの原理(ラグランジュの運動方程式)の応用(続き)

- 1 バネ振り子
- 2 放物線に拘束された質点

ばね振り子

解析力学B

C3-302

はじめに

ばね振り子

放物線に拘束された質点の運動

質点系(質点
が複数ある場合)

ゴムひもの振動

バネ定数 k

バネ自然長 l_0

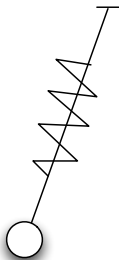
バネの一端は 原点 $(0, 0, 0)$ に固定

重力定数 g

質点の質量 m

質点の座標 (x, y, z)

ラグランジアン L



バネのポテンシャルエネルギー

解析力学B

C3-302

はじめに

ばね振り子

放物線に拘束された質点の運動

質点系(質点が複数ある場合)

ゴムひもの振動

$$U = \frac{k}{2} (\text{バネの伸び縮み})^2$$

伸び縮み = 自然長からのズレ = 現在の長さ - バネの自然長

ラグランジアン

解析力学B

C3-302

はじめに

ばね振り子

放物線に拘束された質点の運動

質点系(質点
が複数ある場合)

ゴムひもの振動

$$L(x, y, z, \dot{x}, \dot{y}, \dot{z}) = (\text{運動エネルギー}) - (\text{ポテンシャルエネルギー})$$

$$\text{運動エネルギー} \quad K = \frac{m}{2}(\dot{x}^2 + \dot{y}^2 + \dot{z}^2)$$

$$\text{ポテンシャルエネルギー} \quad U = mgz + \frac{k}{2}(s - l_0)^2$$

s = 現在のバネの長さ

ラグランジアン

解析力学B

C3-302

はじめに

ばね振り子

放物線に拘束された質点の運動

質点系(質点が複数ある場合)

ゴムひもの振動

$$L(x, y, z, \dot{x}, \dot{y}, \dot{z}) = \frac{m}{2}(\dot{x}^2 + \dot{y}^2 + \dot{z}^2) - mgz - \frac{k}{2}(s - l_0)^2,$$

ここで

$$s = \sqrt{x^2 + y^2 + z^2}$$

ハミルトンの原理

解析力学B

C3-302

はじめに

ばね振り子

放物線に拘束された質点の運動

質点系(質点が複数ある場合)

ゴムひもの振動

運動は作用積分の極値:

$$\delta \int_{t_a}^{t_b} L(x(t), y(t), z(t), \dot{x}(t), \dot{y}(t), \dot{z}(t)) dt = 0$$

オイラー方程式

極値 \Rightarrow 軌道を少しだけ動かしても汎関数の値は変わらない。

$$x(t) \rightarrow x(t) + \epsilon \eta_x(t)$$

$$\begin{aligned} & \int_{t_a}^{t_b} L(x(t) + \epsilon \eta_x(t), y(t) + \epsilon \eta_y(t), z(t) + \epsilon \eta_z(t), \\ & \quad \dot{x}(t) + \epsilon \dot{\eta}_x(t), \dot{y}(t) + \epsilon \dot{\eta}_y(t), \dot{z}(t) + \epsilon \dot{\eta}_z(t)) dt \\ & = \int_{t_a}^{t_b} L(x(t), y(t), z(t), \dot{x}(t), \dot{y}(t), \dot{z}(t)) dt \end{aligned}$$

テーラー展開と部分積分を使うとオイラー方程式を得る。

テーラー展開 (1次元の場合:)

$$\begin{aligned} & L(x + \epsilon \eta_x, \dot{x} + \epsilon \dot{\eta}_x) - L(x(t), \dot{x}) \\ & = \frac{\partial L}{\partial x} \epsilon \eta_x + \frac{\partial L}{\partial \dot{x}} \epsilon \dot{\eta}_x \end{aligned}$$

オイラー方程式

解析力学B

C3-302

はじめに

ばね振り子

放物線に拘束された質点の運動

質点系(質点が複数ある場合)

ゴムひもの振動

軌道は3次元的に自由に(任意の方向に)少しだけ変えることができる。

$\eta_x(t)$, $\eta_y(t)$, $\eta_z(t)$ は任意で独立。
⇒ 式が3つでる。

$$\frac{d}{dt} \left(\frac{\partial L}{\partial \dot{x}} \right) - \frac{\partial L}{\partial x} = 0$$

$$\frac{d}{dt} \left(\frac{\partial L}{\partial \dot{y}} \right) - \frac{\partial L}{\partial y} = 0$$

$$\frac{d}{dt} \left(\frac{\partial L}{\partial \dot{z}} \right) - \frac{\partial L}{\partial z} = 0$$

ラグランジュの運動方程式

ハミルトンの原理に対応するオイラー方程式

$$L(x, y, z, \dot{x}, \dot{y}, \dot{z}) = \frac{m}{2}(\dot{x}^2 + \dot{y}^2 + \dot{z}^2) - mgz - \frac{k}{2}(s - l_0)^2,$$

$$s = \sqrt{x^2 + y^2 + z^2}$$

$$\frac{d}{dt} \left(\frac{\partial L}{\partial \dot{x}} \right) - \frac{\partial L}{\partial x} = 0$$

$$\frac{d}{dt} \left(\frac{\partial L}{\partial \dot{y}} \right) - \frac{\partial L}{\partial y} = 0$$

$$\frac{d}{dt} \left(\frac{\partial L}{\partial \dot{z}} \right) - \frac{\partial L}{\partial z} = 0$$

解析力学B

C3-302

はじめに

ばね振り子

放物線に拘束された質点の運動

質点系(質点が複数ある場合)

ゴムひもの振動

ばね振り子の運動方程式

解析力学B

C3-302

はじめに

ばね振り子

放物線に拘束された質点の運動

質点系(質点
が複数ある場合)

ゴムひもの振動

$$\frac{\partial L}{\partial x} =$$

$$\frac{\partial L}{\partial \dot{x}} =$$

$$\frac{d}{dt} \left(\frac{\partial L}{\partial \dot{x}} \right) =$$

s を残して計算すると楽

$$\frac{\partial s}{\partial x} = \frac{x}{s}$$

ばね振り子の運動方程式

解析力学B

C3-302

はじめに

ばね振り子

放物線に拘束された質点の運動

質点系(質点
が複数ある場合)

ゴムひもの振動

ラグランジュの運動方程式のx成分

$$\frac{d}{dt} \left(\frac{\partial L}{\partial \dot{x}} \right) - \frac{\partial L}{\partial x} = 0$$

に代入すると

$$\ddot{x} = -\frac{k}{m} \frac{s - l_0}{s} x$$

$$s = \sqrt{x^2 + y^2 + z^2}$$

練習問題

解析力学B

C3-302

はじめに

ばね振り子

放物線に拘束された質点の運動

質点系(質点が複数ある場合)

ゴムひもの振動

ラグランジュの運動方程式のz成分の式を導出せよ。

$$\frac{\partial L}{\partial z} =$$

$$\frac{\partial L}{\partial \dot{z}} =$$

$$\frac{d}{dt} \left(\frac{\partial L}{\partial \dot{z}} \right) =$$

ラグランジュの運動方程式

解析力学B

C3-302

はじめに

ばね振り子

放物線に拘束された質点の運動

質点系(質点
が複数ある場合)

ゴムひもの振動

$$\ddot{x} = -\frac{k}{m} \frac{s - l_0}{s} x$$

$$\ddot{y} = -\frac{k}{m} \frac{s - l_0}{s} y$$

$$\ddot{z} = -\frac{k}{m} \frac{s - l_0}{s} z - g$$

$$s = \sqrt{x^2 + y^2 + z^2}$$

数値積分による運動方程式の解

解析力学B

C3-302

はじめに

ばね振り子

放物線に拘束された質点の運動

質点系(質点が複数ある場合)

ゴムひもの振動

$$\dot{x} = u$$

$$\dot{v} = v$$

$$\dot{w} = w$$

$$\ddot{u} = -\frac{k}{m} \frac{s - l_0}{s} x$$

$$\ddot{v} = -\frac{k}{m} \frac{s - l_0}{s} y$$

$$\ddot{w} = -\frac{k}{m} \frac{s - l_0}{s} z - g$$

$$s = \sqrt{x^2 + y^2 + z^2}$$

数値積分による運動方程式の解

解析力学B

C3-302

はじめに

ばね振り子

放物線に拘束された質点の運動

質点系(質点が複数ある場合)

ゴムひもの振動

```
spring_swing_particle.cpp
```

```
double s, common_factor;
```

```
s = sqrt( (x1-x0)*(x1-x0) + (y1-y0)*(y1-y0) + (z1-z0)*(z1-z0) );
```

```
common_factor = (K/M) * (s-L0) / L0;
```

```
dpos[0] = ( u1 ) * dt;
```

```
dpos[1] = ( v1 ) * dt;
```

```
dpos[2] = ( w1 ) * dt;
```

```
dpos[3] = ( -common_factor*(x1-x0) ) * dt;
```

```
dpos[4] = ( -common_factor*(y1-y0) ) * dt;
```

```
dpos[5] = ( -common_factor*(z1-z0) - GRAVITY_CONST ) * dt;
```

シミュレーション

解析力学B

C3-302

はじめに

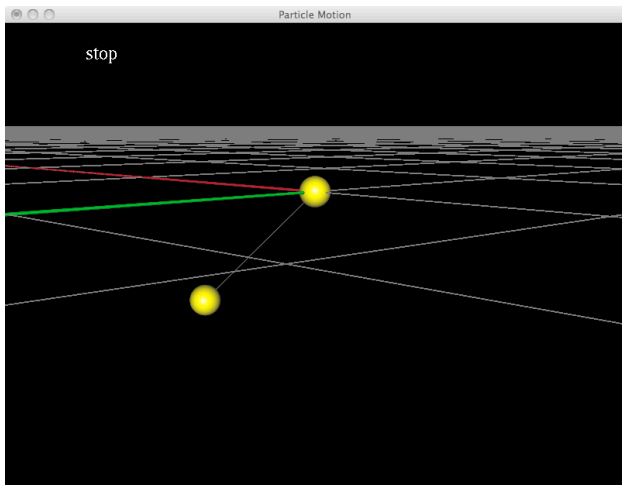
ばね振り子

放物線に拘束された質点の運動

質点系(質点
が複数ある場合)

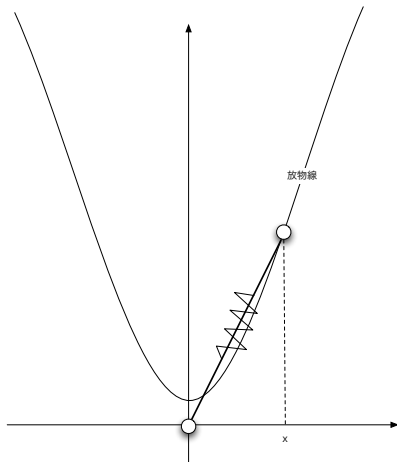
ゴムひもの振動

spring_swing_particle.cpp



放物線 $y = x^2 + 1$ に拘束された質点の運動

バネ定数 k 、質点の質量 m 、バネ自然長 l_0 、重力は無視。
バネの一端は 原点 $(0,0,0)$ に固定
質点の座標 (x) 【一つの座標だけで十分】



解析力学B

C3-302

はじめに

ばね振り子

放物線に拘束された質点の運動

質点系(質点
が複数ある場合)

ゴムひもの振動

ラグランジアン

解析力学B

C3-302

はじめに

ばね振り子

放物線に拘束された質点の運動

質点系(質点が複数ある場合)

ゴムひもの振動

$$L(x, \dot{x}) = (\text{運動エネルギー}) - (\text{ポテンシャルエネルギー})$$

$$\text{ポテンシャルエネルギー} \quad U = \frac{k}{2}(s - l_0)^2$$

$$s = \sqrt{x^2 + y^2} = \sqrt{x^2 + (x^2 + 1)^2} = \sqrt{x^4 + 3x^2 + 1}$$

$$y = x^2 + 1 \text{ より}$$

$$\text{運動エネルギー} \quad K = \frac{m}{2}(\dot{x}^2 + \dot{y}^2) = \frac{m}{2}(1 + 4x^2)\dot{x}^2$$

$$\text{ここで } y = x^2 + 1 \text{ より}$$

$$\dot{y} = 2x\dot{x}$$

を使った。

ラグランジアン

解析力学B

C3-302

はじめに

ばね振り子

放物線に拘束された質点の運動

質点系(質点が複数ある場合)

ゴムひもの振動

結局ラグランジアンは

$$L(x, \dot{x}) = \frac{m}{2}(1 + 4x^2)\dot{x}^2 - \frac{k}{2}(s - l_0)^2$$

$$s = \sqrt{x^4 + 3x^2 + 1}$$

ラグランジュの運動方程式

解析力学B

C3-302

はじめに

ばね振り子

放物線に拘束された質点の運動

質点系(質点
が複数ある場合)

ゴムひもの振動

$$\frac{d}{dt} \left(\frac{\partial L}{\partial \dot{x}} \right) - \frac{\partial L}{\partial x} = 0$$

に代入する。

$$\frac{\partial}{\partial x} \frac{1}{2}(s - l_0)^2 = k(s - l_0) \frac{\partial s}{\partial x},$$

$$\frac{\partial s}{\partial x} = \frac{2x^3 + 3x}{s}$$

に注意すると、

$$\dot{x} = v \quad (1)$$

$$\dot{v} = -\frac{1}{1 + 4x^2} \left\{ 4xv^2 + \frac{k}{m} \frac{s - l_0}{s} (2x^3 + 3x) \right\} \quad (2)$$

数値積分による運動方程式の解

解析力学B

C3-302

はじめに

ばね振り子

放物線に拘束された質点の運動

質点系(質点が複数ある場合)

ゴムひもの振動

one_ball_on_parabola.cpp

```
double x = pos[0];
double xsq = x*x;
double v = pos[1];
double s, factor = K/M;
s = sqrt(xsq*xsq+3*xsq+1.0);
dpos[0] = ( v ) * dt;
dpos[1] = ( -(1.0/(1+4*xsq))*(4*x*vsq + factor*(s-L0)/
s*(2*xsq*x+3*x))) ) * dt;
```

放物線 $y = x^2 + 1$ に拘束された質点の運動

解析力学B

C3-302

はじめに

ばね振り子

放物線に拘束された質点の運動

質点系(質点
が複数ある場合)

ゴムひもの振動

